



# 公平性™

「公平性」の資質が顕著な人は、あらゆる人を平等に扱う必要性を確信しています。明確なルールを定め、それに従うことで、すべての人を公平に扱おうとします。

「公平性」の才能が強い人にとって、バランスはとても大切です。彼らは地位とは関係なく人々を平等に扱う必要性を強く信じています。そのため、誰か一人が特別扱いされることを望みません。彼らは、このようなことが利己主義や個人主義につながると考えています。「公平性」の資質が顕著な人は、自分自身を正しく公平な状況を作るための監視役だと考えています。特権がまかり通る世の中とは対照的に、規則が明確で誰にでも平等に適用される矛盾のない環境にいてこそ、人は最高の働きをできると信じています。それは、誰もが何を期待されているかをわかっている環境です。それは予測が可能で、公正な環境です。このような環境でこそ、人は自分の価値を發揮する公平な機会を持つのです。

## 能力と優位性

「公平性」の才能の高い人は、関係者全員にとってそれが公平かどうかをすばやく簡単に判断できます。その結果、周囲の人は彼らに確信を持ち、信頼に値する人物だとみなします。彼らはポリシーや手続きを定め、チームや組織が誠実さを保ちながら使命を達成するのを手助けできます。

### 「公平性」が上位資質である人：

公平性や公平さの価値を周りの人に教えることに焦点を置き、信頼を構築するようにします。

- 自分にとって最も重要な規則について、時間をかけてじっくり考えるようにします。これらの規則は、特定の価値観や、「これだけは譲れない」ポリシーに基づいているものがあるでしょう。これらの規則を明確に自覚すればするほど、その境界線の内側で個性というものを認められるようになります。
- あなたはグループ内で、公平さを強化する役割を担うことができます。職場や地域において、不利な条件の人が本来の能力を發揮するために必要な環境を提供できる機会を探すようにします。
- 常に実績に注目するようにしてください。功績を評価されるべき人を特定できるように努めます。実際に成果を上げた人が尊重されるようにします。あなたは参加するグループの良心になることができます。

### 「公平性」が下位資質である人：

「公平性」の才能や対策に欠けるからといって、あなたが他人を公平に扱わないということではありません。公平な扱いには何が必要かを注意して考える必要があるかもしれません。あなたの公平さに対する定義や基準と、他の人の定義や基準とのバランスを保つ必要があります。

- ときには、個々の状況に応じて例外を作りたいという衝動を抑える必要もあります。組織が最も重視する価値やポリシーについて学んでください。あなたが最も大切だと思う価値について考えるようにします。これらの価値を引き続き明確にしていくことで、あなたにとって譲れないことは何かははっきりとしてきます。
- 他の人と仕事をするとき、あなたが従っている原則と意図について明確に伝えるようにします。あなたは自分の行動や意思決定において、規則やルーチンワークの重要性を軽視する傾向があるかもしれません。あなたにとっては問題ないかもしれませんが、周りの人は不安定さや不確実さと捉える場合があります。
- 規則やルールを適用する必要性に疑問を感じたら、何らかの反応を示す前に、他の人に意見を求め、そのガイドラインが目標を達成したり、意義のある指針を提供したりするのに役立つかどうかの判断材料にしてください。